

わたしの一言

常日頃考えている事や議会や町政についてのご意見などをお聞きしました。

オール河北で結婚支援を

ひろこ
● 4区 佐藤 広子さん



私が婚活コーディネーターの委嘱を受けて5年目になります。当初は暗中模索でしたが結婚相談所の6名の相談員とともに、町内外問わず登録している会員に紹介・お見合い、一般の方にも月3回・偶数月4回の相談業務を行っています。

さらに、村山地域の営利目的でない仲人さん達とむらやま婚活ネットワークとして、月1回の情報交換会を開催し、自力で成婚が難しい独身男女を何とか支援したいと日々連絡をとりあっています。

県では11月以降、婚姻届を提出した新婚家庭に結婚祝品を贈り祝福しています。我が町は何もないので、過日、町長との懇談の折、何かしらお祝いの気持ちを届けてほしいと要望しています。

コロナ禍で自粛の中ですが、今年度2組成婚(各々1名町外より)町内に居住しており、婚約1組(2名とも町外より)も町内居住予定です。個人情報保護の下、地道な活動ですが、少しでも幸せのお手伝いができるよう、オール河北でのさらなる結婚支援をお願いします。

同じ時期に、新型コロナウイルス感染症と7月豪雨復旧復興、さらに豪雪対策と3つの対策本部が設置される大変な日々となっています。

今後、ワクチン接種の日程が医療関係者から具体的になり始め、豪雨被災からの復旧復興の取組みも進んでいます。2年ぶりに降った雪対策には、あわてずじつくり、そしてしっかりと取組みましょう。

新年は、一番大変なところから、どんどんと良くなっていく年になります。(きむら)

広報広聴常任委員会

- 委員長 木村 章一
- 副委員長 阿部 恭平
- 委員 佐藤 修二
- 委員 齋藤 隆
- 委員 細矢 誓子
- 委員 石垣 光洋

続けて良かったゲートボール

すはら てつや
● 旭町 菅原 哲也 さん



私は定年を迎えるころ、友達からゲートボール、おもしろいがらしてみねがと誘われ、長年続けています。最初は思うように出来な

かったのですが、続けているうちに思った所にボールが転がるようになると、おもしろくなり、町のゲートボール連盟に入り『河北べに花』のチーム名で県の協会へ登録し、色々な大会に出場しました。これも各先輩方の適切なお指導があったからだ感謝しています。

今でも、ひなの湯東公園や町の屋内運動場(遊蔵)に火曜日と金曜日に行くのが何よりの楽しみです。

試合時間は30分で技術と作戦を取り入れ県内外の大会に参加出来るように練習しています。町でも、ひなの湯東公園にて近隣市町ゲートボール大会を企画され毎年実施しておりますが、今年はコロナ感染防止のため、中止になったので残念です。

健康で楽しく長生きするために、町民の皆様方にもゲーム感覚のゲートボールを、お薦めしたいと思っています。また議員の方、町の体育協会の方々のご協力もよろしくお願いいたします。

かほく議会だより

第110号
2021年1月14日

<http://www.town.kahoku.yamagata.jp/1050.html>



山形県河北町議会
山形県西村山郡河北町谷地戊81
〒999-3511 ☎0237-73-2119
編集 / 広報広聴常任委員会

印刷 / 株式会社武田印刷



町民や家族の健康を守り広めたい
100人超が生まれる町へ
審議結果と議案の内容説明
9人が一般質問

2P
5P
6P
7P

●シリーズ● 町民インタビュー
食生活改善推進員の皆さんに、41年目を迎えた活動のことなどをお聞きしました。表紙写真は新型コロナ禍以前の人形劇です。(2019年11月撮影)



町民や家族の健康を守り広めたい

40周年を過ぎ、新たな取組みを進めている食生活改善推進協議会(食改)の役員さんにお集まりいただき、活動や自らのこと、町への思いやご意見をお聞きし、取材した議員の回答などもご紹介します。

自己紹介とあわせて食改活動などについて、お聞かせ下さい。



会長 佐藤園枝さん
何回もやりとり

私は戸沢村の出身で、岩枝上に住んでいます。河北町に来たころは同じ県内なのに、方言が分からなくて苦労した

記憶があります。食改の会員になった最初のうちは同居のじいちゃんや減塩食になれてくれなくて、何回も何回もやり取りをしたことがありました。

食と住むところがあつて人間



副会長 茨木久美さん

ずっと河北町民で両所島に住んでいます。「食」が一番大事だと思います。食と住むところがあつて人間です。副会長になって大変だけど「やるっきゃな

い」と思っています。食育推進活動では、子どもたちにアンパンマンの人形を使って「朝ご飯を食べよう」と呼び掛けたりしてきました。

うま味 酸味 辛味で減塩を進められる



副会長 佐藤順子さん

住んでいる高関南のいきいきサロンで、25人ほど集まっていたので、減塩食の講習会をしたことがあります。台所が小さいので、

和室にカセットコンロを持ち込み、調理実習をしました。しょう油の代わりにダシのうま味や、酸味、辛味を活かした減塩でも美味しい料理は好評でした。

健康を広める活動

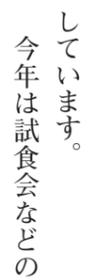


会計 渡辺邦子さん

夫が2か月ほど入院して自宅に帰った時、家の味噌汁がしょっぱいと言ったので、このチャンスを見逃さず、減塩食に切替えたこともありました。

溝延に住んでいます。食改の会員は、以前は280人ほどいましたが、今は120人です。

健康を広める活動



会計 渡辺邦子さん

今年は試食会などの活動ができませんが、「河北町の元気ごはんレシピ集」の小冊子づくりや、リーフレットの発行、推進員の自主学習などに活動を切りかえています。

町や議会、議員や議会だより、ご意見やその他なんでもお聞かせ下さい。

炊き出しの準備した

佐藤園枝さん

7月豪雨の時は、炊き出し用に使えるアイラップなどを準備して、声がかかるのを待ちましたが出番がありませんでした。

寝たきりの方の災害避難どうする

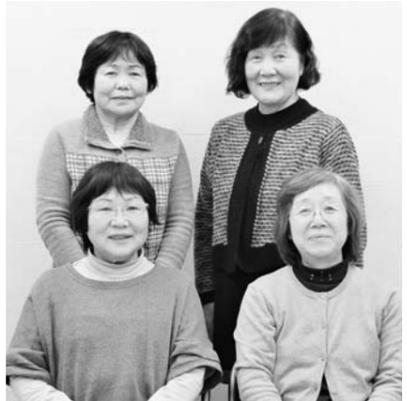
佐藤順子さん

訪問介護先に居る時に浸水の避難指示が出て、呼吸器をつけて寝たきりの方なので大変でした。

家族が帰ってくるまで待って、救急車を呼んで避難するまで付き添いました。こういう場合の対策などは、どうなっているのでしょうか。

議員 災害時に避難支

援が必要な方の名簿づくりが進んでいますが、今回の場合は、機能しなかったようです。支援が必要な方々が避難する、福祉避難所などの議論も始まっています。



溝延の東側になんて堤防が無いの

渡辺邦子さん

7月豪雨は怖かったです。溝延地区では果樹などにもずいぶん被害がありました。なんで溝延の東側に堤防がないのですか。

議員 ずっと以前、溝延東側の畑がたくさん無くなる堤防の計画があり、暮らしが立たなくなると築堤反対の要望書を出したようです。その後10年ほど前に、安全に農作業をしたい

引竜広場に芋煮会ができるスペースがあつて自慢です。でも、そこに行くまでの道が草ぼうぼうで、分かれ道に案内看板がありません。

引竜広場は自慢のスペース

茨木久美さん

引竜広場に芋煮会ができるスペースがあつて自慢です。でも、そこに行くまでの道が草ぼうぼうで、分かれ道に案内看板がありません。

広場の奥にはステージのような所もあり、楽しめる場所です。もっと利用してと、発信できませんか。議員 最近はキャンプがブームになってきています。引竜広場にはかまどがあり、水洗トイレもあり、道路の草刈りや看板も含めて整備を求めています。

溝延の桜つつみは河北町の宝

渡辺邦子さん

溝延の桜つつみも自慢です。溝延橋の歩道橋から眺める桜並木と月山の景色は、河北町の宝です。

議員 町をあげてもっと盛り上げてほしいのですが、例えばですが、青年団体などとコラボして、例えば「ひと夜かぎりの桜まつり」などの可能性を追求して



みたいですよ。

里親制度にもっと理解と取組みを

佐藤順子さん

私は里親に取組んでいます。河北町は子どもが減ってきていますが、里親制度にも理解を

げ、取組んでみてはどうでしょうか。

たくさんの方に傍聴してほしい

茨木久美さん

12月議会を、午前午後を通して一日いっぱい傍聴しました。議員さん方がずいぶん頑張っていて、ご苦労なさっていることを直接に見聞きしてとても感心しました。

心に残ったのは、消防団員が災害対応で一日出勤しても1000円だけというのは安過ぎる、という質問などでした。是非、たくさんの方に傍聴してほしいと思います。

おわびして訂正します。109号の2Pで、林智さんが消防団に入って15年は、25年の誤りでした。

12月議会
3日～9日

11月13日と30日の臨時議会、12月定例会に提案された第8次河北町総合計画の基本計画案や補正予算案、条例改正案などは、いずれも全会一致で可決しました。基本計画案や補正予算案などについての質疑を紹介します。

溝延のなでしこ広場 学童保育と交流期待

問 溝延地区に、高齢者居場所づくりの「なでしこ広場」がスタートして、旧溝延幼稚園を利用しては初めて



溝延地区居場所づくりの開所式

となり、楽しい企画が出来るのではないかと期待できる。

健康福祉課長 夕方の利用時間が重なり、体育室の共通部分などで

申請の手続きなしで水道料金の減額支援

問 7月豪雨で被災した町民と事業者の水道料金の基本料金1か月分をすでに支援した。

その分を一般会計から補填する予算だが、申請書が不要で手続きが簡単となり、今後新型コロナウイルスの町民支援などにも使える方法ではないか。

町長 税金を使うことなので一般化はしない考えだが、ひとつの方法として頭には置いておきたい。



上がアルファ米
これに水を加えるとご飯になります



非常食は美味しく 簡単なアルファ米を

問 今回の避難所で使った非常食の補填は、どんな内容を考えているか。

避難者たちの非常食に対する反応はどうだったのか。

環境防災課長 28日の夜はパンとおにぎり100人分を買い集めたが提供する時は、倍の人数になり苦慮した。

29日朝は避難者が1000人を超えていたが、600人分の無洗米の炊き出しを準備した。

しかし提供する前に帰ってしまい、結局150人に提供した。

少しだけあったアルファ米が美味しいとの声が多く、割高だが水やお湯を加えるだけで食べられるアルファ米を多く準備したい。

町の住宅復旧補助金 足りるのか

問 7月豪雨の被災者が住宅復旧にも使える町の持家住宅促進補助

金は、9月議会で追加補正して受付開始後、すぐに底をついた。今回は足りるのか。

都市整備課長 ニーズを把握して、再度の補正をお願いしている。

防災テレフォン サービスは1月から

問 9月議会で防災のテレフォンサービスは、3回線では少なすぎると指摘したが、どのように変更したのか。

環境防災課長 その後さらに検討して、毎月5万円が無制限に使える方式で、令和3年1月から開始したい。



券売機を点検するひなの湯職員

ひなの湯の利用料 回数券は17円値上げ

問 ひなの湯の利用料金を引上げようだが、風呂の利用者が減るのではないかと懸念と期待があり、それに

応えていきたい。

入浴料金280円を350円にするが、回数券を12枚から14枚に増やすので、1回17円の値上げとなる。ご理解いただきたい。

地下ピットは 浸水しない対策を

問 7月豪雨の際に、ひなの湯の地下ピット

に浸水があったが、補修予算の内容は、同程度の水位では、地下ピットに浸水しないようにするのか。

町長 今回はいずれも、配管の断熱材のカビ対策などだ。

ひなの湯の職員と業者で、浸水を防ぐ方法を検討している。

審査する委員長が 公社の社長は問題

問 べに花の里振興公社に、ひなの湯の指定管理を任せるかどうか審査する委員会の委員長が副町長だ。

政策推進課長 双方代理を避けることは、契約を結ぶ場合の法律だ。指定管理は行政執行だから問題はないと考えている。

百人超が生まれる町に オール河北で

問 第8次河北町総合計画の基本計画は、今回から議会で議決することになった。変更がある時は、議決を求めることになるのか。

買い物難民対策と、特に谷地地区の空き地、空き家活用の明記を。婚活について、オール河北で取組むべき。地域医療の確保は、町長の決意が必要だ。政策推進課長 大きな変更は議決を求める。



子どもたちのピクトリーサイン (西里ちびっこ学童クラブ)

新型コロナウイルスで

食べ残し増えた 問 学校給食の食べ残しが増え、処理費用が予算化されているが、

学校教育課長 新型コロナウイルス対応で、たて割り班の食事を止め、みんなが一方を向いて黙って食べる方式で、食べ残しが増えた。小規模校では、食べ残しは増えていない。

9 議員が一般質問



一般質問とは、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、議員個人として問いただすことです。

8・9P

5番 吉田 芳美 議員

- ①7月豪雨災害における地域防災体制の検証、体制強化に向けた取組みと復旧復興について
- ②令和3年1月からの運用で進めている防災ラジオ整備事業について
- ③町の高齢化率が高まる中、県立河北病院への救急搬送が減少し続けていることについて

6番 楨 正義 議員

- ①県立河北病院と寒河江市立病院の統合検討の動向と県立病院事業会計の資金不足について
- ②令和3年度からの河北町職員定数管理計画策定の基本的考えについて
- ③第6回やまがた雪フェスティバルの開催について

4番 木村 章一 議員

- ①新型コロナウイルス感染が疑われる場合、町民ができる対応と費用負担、終息までの対応について
- ②7月豪雨での対策本部の活動、避難勧告や指示、避難所の設置運営など、教訓と対策について

10・11P

12番 佐藤 修二 議員

- ①公共工事について
- ②住宅政策について

1番 丹野 貞子 議員

- ①結婚相談員や仲人をする人員を増やし、結婚支援を強化することについて
- ②社会福祉協議会へ委託している婚活支援事業を若者・女性・町民総活躍室の担当にしているかどうか

8番 細矢 誓子 議員

- ①本町におけるSDGsの取組みについて
- ②本町の観光施策について

12・13P

2番 東海林信弘 議員

- ①7月豪雨災害に伴う農業用地復旧の見通しについて
- ②ヤマザワ等の商業施設オープンに伴う施設西側の町歩道の安全確保と安全指導について

10番 松田 収作 議員

- ①令和2年7月豪雨災害の現況と今後について
- ②花ノ木の宅地造成に向けた取組みについて

7番 石垣 光洋 議員

- ①農業政策について
- ②河北町の経済対策について
- ③河北中学校について

町政に問題提起や政策提言

上部のQRコードを読み込んで、議会ホームページの録画中継をご覧ください。

審議結果 議第78号から議第103号まで、全会一致で可決しました。

〈12月定例会〉議第78号～80号は令和2年11月13日臨時会、議第81～82号は令和2年11月30日臨時会

議案番号	議案名 (議案名は一部省略しています)	議決結果	主な内容
議第78号	令和2年度河北町一般会計第10回補正予算	可決	歳入歳出3億4348万円増額 歳入歳出総額143億9375万円 7月豪雨災害の被害に対する住宅や農業への補助金を追加
79	河北町役場新庁舎エネルギー棟建築工事請負契約の一部変更	可決	設計の一部の変更に伴う契約金額の増額と工期の変更 完成工期:変更前 令和3年1月31日 変更後 令和3年3月31日 契約金額 9万円増額 9562万円
80	損害賠償の額の決定	可決	河北町西里地内において発生した公用車による物損事故に基づき生じた損害の賠償を行う 賠償額:2万4200円
81	河北町特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	河北町特別職の期末手当を減額する
82	河北町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	河北町一般職の期末手当を減額する
83	令和2年度河北町一般会計第11回補正予算	可決	歳入歳出7374万円増額 歳入歳出総額144億6749万円 河北町中小企業支援緊急対策基金への積み立て、7月豪雨により被害を受けたひなの湯の修繕、備蓄食料の補充、防災行政無線の放送内容を電話回線により確認するためのシステム導入に係る費用など
84	令和2年度河北町農業集落排水事業特別会計第2回補正予算	可決	歳入歳出1万円増額 歳入歳出総額2891万円
85	令和2年度河北町公共下水道事業特別会計第3回補正予算	可決	歳入歳出443万円増額 歳入歳出総額9億7889万円 流入水量の精算に伴い、最上川流域下水道維持管理費市町村負担金の増額
86	令和2年度河北町水道事業会計第2回補正予算	可決	水道事業収益8000円減額 総額5億1841万円 水道事業費用2万8000円減額 総額4億9404万円
87	河北町中小企業支援緊急対策基金設置条例の制定	可決	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所が融資を受けたことにより生じる利子の町負担分についての基金を設置する
88	河北町町税条例の一部を改正する条例の制定	可決	河北町成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定
89	河北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律等の改正による条文のズレが発生したことによる条例の改正
90	河北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	国民健康保険税の減額に係る所得の基準等について、基礎控除額相当分の基準額を引き上げる等の改正
91	河北町女性・青少年センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	適応指導教室及び教育相談室を女性・青少年センターに移転することに伴う条例の改正
92	河北町農業体験交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	河北町農業体験交流施設(ひなの宿)の料金等の変更 金曜日及び土曜日、繁忙期などの宿泊料金等の変更
93	河北町ふれあい交流施設へ花温泉ひなの湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	河北町ふれあい交流施設へ花温泉ひなの湯の料金等の変更 変更前:一般280円 小学生120円 回数券(12回)2800円 変更後:一般350円 小学生100円 回数券(14回)3500円 変更は令和3年4月1日から
94	電子黒板の取得	可決	小学生及び中学生の教育のデジタル化を推進するために電子黒板を取得 取得する財産 電子黒板14台 納入期限 令和3年2月26日 取得価格 328万円 取得する相手方 石山商店 石山国明
95	第8次総合計画基本計画	可決	第8次河北町総合基本構想に掲げた目標の実現に向けて、具体的に推進する基本施策を示す基本計画 期間 令和3年度から令和12年度まで
96	河北町職業訓練センターの指定管理者の指定	可決	河北町職業訓練センターの指定管理者を職業訓練法人河北職業訓練協会へ指定するもの
97	農業体験交流施設体験型滞在施設の指定管理者の指定	可決	農業体験交流施設体験型滞在施設の指定管理者を株式会社河北町へ花の里振興公社へ指定するもの
98	河北町紅花資料館の指定管理者の指定	可決	河北町紅花資料館の指定管理者を一般社団法人河北町観光協会へ指定するもの
99	河北町ふれあい交流施設へ花温泉ひなの湯の指定管理者の指定	可決	河北町ふれあい交流施設へ花温泉ひなの湯の指定管理者を株式会社河北町へ花の里振興公社へ指定するもの
100	河北町総合交流センターサハトへ花の指定管理者の指定	可決	河北町総合交流センターサハトへ花の指定管理者を株式会社河北町へ花の里振興公社へ指定するもの
101	河北町体育施設の指定管理者の指定	可決	河北町体育施設の指定管理者を株式会社河北町へ花の里振興公社へ指定するもの
102	河北町特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	町営住宅の家賃計算を誤り、損失が生じたことに対し、町長及び副町長が責任を取るべく2者の給与を減額する
103	令和2年災下釜地区下釜排水機場機械設備災害復旧工事請負契約の締結	可決	7月豪雨災害に被害を受けた下釜排水機場機械設備を復旧する工事の契約 完成工期 令和3年3月31日 契約金額 7964万円 契約の相手方 東北機電工業株式会社山形営業所 取締役山形営業所長 佐竹英夫

日当1日1000円

生活犠牲の緊急出動

消防団に感謝
報酬改善検討する



吉田 芳美 議員

問 7月豪雨で36時間連続出動の団員に、報酬1日1000円で2日分2000円の支給だ。

答 3年前の山火事も4日間燃え続け延500人の出動だった。今回も排水や警戒等で町民と地域を守った。通常の出動とは異なる大災害だ。処遇改善の考えはあるか。

副町長 消防団には感謝している。報酬改善を検討する。

問 被災者支援の中で、災害救助法適用の応急修理費の給付が遅い。未だに、振込ゼロ件だ。

環境防災課長 早期に振込出来るようにする。

問 町民から指摘を受けた避難行動の検証は。

町長 年内を目途に検証と調整を図る。来年の出水期前までに地域説明会開催も含め周知徹底を図る。

問 防災ラジオ導入は。
町長 1月から対応だ。無償貸与の範囲枠は、浸水対象地域の75歳以上の子供や世帯や自主防災会長などだ。

町民の河北病院への

搬送率38%と減少

問 高齢化率が高まり、救急車要請は増加している。しかし、河北病院は医師不足で搬送が減り続け、山形市など管外搬送が増えている。高齢者は救急要請時の症状に重篤感が見られ、一刻も早い処置が必要で河北病院の責務

だ。町としての対応は。

町長 搬送率は平成30年48%、令和2年は38%と減少だ。

地域住民の安心を支える重要な病院だ。医療機能が十分果たせるよう、財政措置の充実や医師確保など国に対する要望もしっかりと対応していく。

町は河北病院存続を強く要請すべき

地域医療調整会議の動きは無い



榎 正義 議員

問 県立河北病院と寒河江市立病院の統合検討の動きから5か月、知事が約束した県と1市4町の協議の場は設定されたのか。統合検討を協議する地域医療調整会議の開催は行われているのか。

町長 現在の職員数150名、条例定数は60名で、条例定数はあくまで上限値であり、町の将来像を見据え適正な定員管理計画目標

の統合検討に反対すべきではないか。
町長 新型コロナ感染症拡大等の影響もあり、現在までに県と西村山の1市4町との協議、地域医療調整会議の動きは無い。

問 令和3年度から始まる次期職員定員管理計画目標数を伺う。特に今回の災害復旧・復興等の迅速な対応にはそれに見合った職員確保が重要だ。条例定数に近い定員管理目標数とし、迅速な災害対応を行うべきだ。

素早いPCR検査で風評被害無しへ

発熱時は主治医
他は相談センターへ



木村 章一 議員

発熱時は主治医に電話して指示を受ける

問 新型コロナウイルスの感染拡大が心配されている。感染から14日間は感染力がある可能性があると言われていて、陽性になった人と濃厚接触の心配がある場合に、症状がなくてもPCR検査が受けられる方式を作れないか。

町長 11月から手順が変更になった。発熱時はかかりつけの主治医に電話をして、電話の指示が必要ならPCR検査を受けること

差別偏見がないよう一気に幅広検査へ

問 新型コロナウイルスで風評被害という2次被害を防ぐためにも、素早くPCR検査を受けられるようにすべきだ。

町長 差別偏見が発生しないよう、感染者の周囲を、濃厚接触者以外も一気に検査する、幅広検査が行政対応の流れになっている。

災害の課題と教訓 今後の訓練に活かす
問 7月豪雨の被災者

支援に取組みながら、災害に対応した活動について教訓と対策をまとめる時期となった。本部の活動、避難指示を全戸一斉に出したこと、避難所の設営と運営など、どのように評価しているか。

環境防災課長 全町に對して一斉に避難するよう指示した避難指示には、課題があった。避難所の設営は、職員配置の仕方、食糧の提供方法、炊き出しの準備やタイミングなど今後活かしたい。今後の防災訓練に反映させたい。



河北橋の全面通行止め

数を検討中であり、現時点では明示できない。

雪まつりの

コロナ対策は万全か

問 第6回やまがた雪フェスティバルはコロナ禍の開催となるが大丈夫か。また、1市4町の共同開催に相応しい経済効果と観光誘致に繋げる企画が必要だ。

町長 雪まつりは令和



コロナ禍の雪まつりは感染対策を万全に

3年1月30・31日寒河江市を会場に開催するが、ハガキ等による事前申し込みとし、事業内容も大幅に縮小するなどコロナ対策に万全を期していく。

4町にイルミネーション（本町は道の駅）を設置し巡る周遊や、1市4町の観光地の周遊も検討している。



終日道路封鎖にあたる水防団(消防団)

度重なる設計変更 増額の検証は 技術系職員の 人材確保に努める



佐藤 修二 議員

問 今回庁舎建設では、設計変更や工事請負額の増額などがあった。以前にもくい打ちの増や建設後の手直し、やり直しが相次いだ。どこにどんな問題があると認識しているのか。

町長 工事的目的、構造、仕様などを十分に検討した後に設計し、

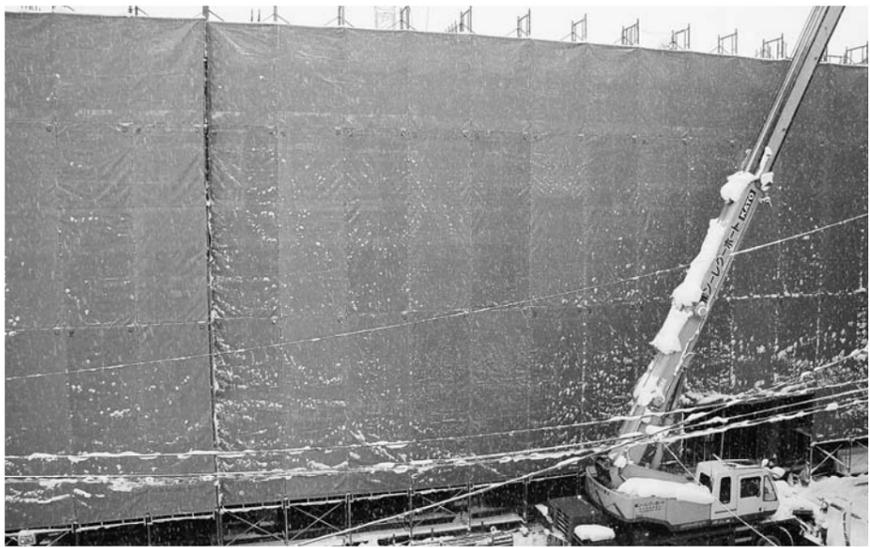
これをしっかりと明示することが重要であると考えている。
問 今後どのような改革を考えているのか。
町長 技術系職員の人員確保にも努め、経験、研修により専門知識や現場知識を向上させ、適切な体制や方法により執行する。

積極的な住宅政策を

問 町長は「若者が住みたくなる町づくりを目指す」と言っている。それなら、当然安価で手に入る住宅団地の造成計画などがあるべきと思う。

しかし、今回示された第8次総合計画には旧町民プール跡地を住宅団地にする計画などがあるものの、さらに積極的な計画を作るべきと思うかどうか。
町長 出生率の回復や若年層の地元回帰の促

進が不可欠であり、若者の移住定住に特化した住環境の整備を検討する。
団地については、事業の成果を見極め、政策的観点から多角的に課題を整理し検討する。



令和3年9月完成を目指す新庁舎

仲人を増やし 結婚支援強化を図れ 関係者の声を 聴いていきたい



丹野 貞子 議員

成果をあげている

婚活事業に感謝

問 河北町が委託している「婚活事業」の実績や課題は。

町長 平成28年度に支援員6名のほかに婚活コーディネーター1名を設置し強化。

平成29年度に2組、平成30年度に2組、令和元年度に1組、令和2年度11月末現在で2組と計7組の結婚が成立した。
現在交際中のカップルも5組いる。日々のご努力のおかげで大き

結婚成就報奨金 制度の確立を

な成果と感謝している。

問 支援員は決められた相談日の日以外でも個々に目に見えないところで仲人のご努力をされている。
結婚が成立したら成婚報酬を出して、町としての感謝の意を表してはどうか。

町長 仲人が仲介して成婚された場合、その仲人に対して報奨金を支給している自治体があることは承知している。
関係者の声を聴いていきたい。

政策推進課に 結婚推進係を

問 結婚成立には、多くの出逢いの場を企画・創出し、第8次総合計画にある結婚・出産・子育てまでオールかほくで応援する必要がある。

より目に見える婚活支援活動を推進するためにも、「結婚推進係」を設置してはどう

か。
町長 平成30年村山地区広域の婚活実行委員会で、7月に河北町内で開催された婚活バスツアーでは、参加した男女40名の中で12組のカップルが成立した。行政としてどのように取り組むを行うのか、がまず重要と考えている。



平成30年の婚活イベント

観光人口増に向けた 施策の再検討を 新しい視点 柔軟な 発想で集客に努力



細矢 誓子 議員

新しい視点柔軟な 発想で集客に努力

問 観光施策の再検討の状況は。

町長 昨年度、国道48号線沿いに食の魅力を発信する看板を設置して誘客を図った。

児童動物園についても改修に向けた話し合いを進めている。新しいイベントの開催や新

しい視点、柔軟な発想での集客に努める。

参加・体験型の要素を模索する
問 新しい観光行政の考え方は。

町長 リピーターを増やす仕掛けづくりを考え、河北町の特性を生かしたPRに努めていく。これからも参加型、体験型の要素を模索していく。

広域的に話題のある 観光ルートの開発

問 新しい観光資源の開発は。

町長 精神文化の観光という提案だったが、ほかの観光資源と合わせてPRしていく。広域的に山寺や慈恩寺などと、紅花資料館を結んだストーリー性のある紅花文化の観光ルートとして進めていく。



17の目標を示したマーク

町民の方々からの 再発信に期待

問 町民が発信する観光施策は。

町長 今後とも様々なツールを使って発信していくが、町民の方々からも情報が再発信されることを期待する。

SDGs 実現に向けて 貢献に努める

問 SDGs（持続可能な開発目標）をどのように活用、展開する

か、第8次総合計画での取組みは。

町長 SDGsを前面に押し出してはいるが、これまで内容と趣旨を同じくするものが多い。

第8次総合計画においてもSDGsと方向性を共にするものがある。本町ならではの特性を生かしながら、SDGs 実現に向けて貢献していく。

農地災害復旧は

作付けまで終わるのか

令和3年度の作付けに向け復旧に努める



東海林 信弘 議員

令和3年度の作付けはできるのか。

町長 令和3年の営農への影響を考慮し、査定後、国の事業決定通知を待たずに、工事を着手できるように県に申請した。

現場の状況を見極めながら、令和3年度の作付けに間に合うよう進めていく。

土砂撤去事業の構想と費用負担は

いくのか。

町長 速やかに進められるように、4つの工区に分けて工事発注を実施した。

撤去した土砂は、新吉田南沢くぼ地に搬出予定としている。

農地復旧の概算費用はどのくらいで、誰が負担するのか。運営面でも苦情が寄せられたが、その検証は。

農林振興課長 10アール当たり約25万9000円になり、負担率は精査中だ。

費用は土地所有者に負担してもらう。

溝延前野地区の

農道法面崩壊の認識は

農地関連復旧状況について、前野地区法面の被害箇所が記載されていない。

認識はしているのか。農林振興課長 認識はしていたが漏れていた。大変申し訳ない。早急に対応したい。

ヤマザワ側道歩道の安全確保と指導は



土砂とプレハブの撤去が待たれる水田

ヤマザワ谷地店のオープンに伴い、通学路にも指定されている歩道の安全確保や指導など必要ではないのか。

町長 自転車等の交通マナーアップや通学時の注意点など、改めて徹底指導を実施する。オープン当初は、スクールガードリーダーによる現場指導対応を2日間実施する。

押切の排水ポンプ場の整備は

令和3年梅雨までに完成目指す



松田 収作 議員

押切の排水ポンプ場の復旧は。

町長 操作盤及び発電機を3・5メートル上げ、水中ポンプ方式にし、令和3年梅雨までの完成を目指す。

押切地区道路復旧の進捗状況は。

町長 古佐川氾濫の復旧は擁壁、石積、防御

壁、側溝及び舗装等の被害があり、令和3年3月末までに復旧整備する。

吉田東地区最上川左岸築堤の進め方は。

町長 協議会の皆様と一緒に、これまで国交省や東北地方整備局に早期着工を求める要望をしてきた。

その結果もあり、昨年は地質調査、今年は用地測量調査に着手し、実効ある洪水対策事業の実現を目指している。

新吉田南沢のくぼ地解消に向けた取組みは。

町長 現在、県営基盤整備事業に取組んでいる。県、町、土地改良区と協議し、新吉田南沢くぼ地に埋め立てを進めている。

また、新吉田地区の理解を得て、溝延地区の土砂も南沢くぼ地に



南沢くぼ地に土砂の搬入

搬出する予定だ。

豪雨での土砂撤去で来年度の作付けは可能か。

農林振興課長 令和3年度の作付けが出来るように終わらせる。

花ノ木の宅地造成の今後は。町長 土壌汚染か所は

どう開発すればよいか、開発公社で計画している。

今年度は地質調査を実施し、今後は地域の理解を得ながら検討していく。

なお全体の整備計画は、第8次河北町総合計画に合わせて開発する。

築40年を過ぎた

中学校の建替えは

長寿命化で対応し維持管理する



石垣 光洋 議員

理していく。

町内企業支援は

中学校舎80年使用

町長 小学校6校、中学校1校で、築年数30年以上経過した。

令和元年度に、学校施設長寿命化計画の基礎調査を行い、躯体の健全度評価、判定を行った結果、すべての施設が健全な状態であることを確認した。

長寿命化による使用期間は70から80年程度だ。

改良事業や修繕を行いなから施設を維持管

新型コロナ禍での産業支援は。

町長 厳しい環境下で営業されているが、利子補給事業、交付金事業、河北応援券、支援金など支援策を講じている。

県等と連携して、事業者支援に務める。

農業政策は

令和3年の米の生産はどうなるか。

町長 河北町では、主食用米で面積では26ヘクタール、数量で124トンの減少となる。

米の生産の目安と配分は。

町長 農地の移動をとりまとめているところだ。

1月中旬頃に方針を

決定し、各農家に配分する予定だ。

新型コロナ禍での農業政策は。

町長 サクランボ、花卉、畜産農家に支援している。支援策については長期化が見込まれる。国・県との連携を強化し対応に努める。

農家所得確保の点からも今後の動きを捉え、対応することが重要だ。



転作大豆の検査

河北町の負担金は1億1663万円

東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

令和2年11月9日、東根市議会議場で第3回定例会を開催しました。提案された議案は4件です。

③組合会計補正予算第1号について
歳入歳出予算をそれぞれ23億2610万円とするもの。
歳入は、延命化工事の額の確定による一般廃棄物処理事業債の減、組合市町負担金の減。
歳出は可燃ごみ処理費や精密機能検査委託料等の入札差金に伴う事業費の減。

8億6203万円。河北町の負担金は1億1663万円。
いずれも原案の通り承認、可決しました。

①損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について

7月30日、東根市蟹沢地内で公務中に発生した物損事故により生じた損害の賠償を専決処分したものの。

②損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について

8月25日、村山市湯野沢地内で公務中に発生した物損事故により生じた損害の賠償を専決処分したものの。

④組合負担金の確定について



花ノ木地区に一時保管された被災ゴミ

確定額は3市1町で

令和元年度決算を認定

西村山広域行政事務組合議会

令和2年10月12日、寒河江市市議会議場で第2回定例会を開催しました。提案された議案は5件です。

①令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定について
歳入は14億1864万円、歳出は14億1095万円。実質収支は769万円の黒字となり、600万円を基金

に積み立て、169万円は翌年度に繰り越すもの。

②令和元年度寒河江地区クリーンセンター、斎場特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入は10億2660万円、歳出は10億146万円。実質収支は2514万円の黒字となり、2400万円を基金に積み立て、114万円は翌年度に繰越すもの。

③令和元年度交通災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入は2190万円、歳出は2070万円。実質収支は119万円の黒字となり、90万円を基金に積み立て、29万円を翌年度に繰り越すもの。

④令和2年度一般会計第1号補正予算について
1544万円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ16億196万円とするもの。

⑤令和2年度寒河江地区クリーンセンター、斎場特別会計第1号補正予算について
512万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ10億219万円とするもの。
いずれも原案の通り認定、可決しました。



河北町にワイナリー可能性を探る

総務産業常任委員会

委員会では南陽市にある「イエローマジックワイナリー」を訪問し、小規模でも美味し

いワインづくりについて、視察させていただきました。



南陽市でワイナリーを視察

南陽市を目指して移住し立上げ

イエローマジックワイナリーの岩谷さんは、何軒ものワイナリーでワインづくりを経験し、化学肥料や除草剤を用いず自らブドウを作り、そのブドウを使って、15℃以下で低温発酵のナチュールワインづくりがしたいと南陽市に移住し、ワイナリーを立ち上げた方です。

河北町では、イエローマジックワイナリーに河北町産のブドウを持ち込んでワインづくりを委託しています。

年間を通して15℃の環境が必要

デラウェアは1ヘクタールで15トン収穫できるとのことです。いつでもナチュールワインやシードルなどを生産するためには、年間を通して15℃を保持できる環境にタンク

を設置する必要があります。

研究と努力の時間が必要

美味しいと評価され、採算ベースに乗るようになるには、研究と努力の時間が必要です。

町内産ブドウを委託してワインに

小規模と言いつつも、採算ベースに乗せるには、一定量以上を作る必要があります。

町内で作ったブドウを、美味しく作ってくれるワイナリーに委託して、河北町産ブドウのワインで、販売や町おこしの可能性にチャレンジする方法もあります。

より読みやすく少し変わります

広報広聴常任委員会

11月5日の議会広報研修会を受けて、12月議会号から「かほく議会だより」は少し変わります。



研修でレベルアップ

登場者の問いに答え 議員たちの見解も

2〜3Pの町民インタビューは、登場する方々だけの発言をお伝えしてきましたが、これからは登場者の問いに、議員たちのコメント、答えなども少しお伝えします。

議案の説明を増やす 質疑のすぐ後に配置

審議結果のページは、質疑のページのすぐ後に配置し、議案内容の説明字数を増やします。